

特別文庫のご紹介③

渡辺文庫

渡辺文庫は府中市の郷土史家、渡辺紀彦氏の旧蔵書です。明治40(1907)年に府中町に生まれ、明治11(1878)年に創業された成文舎(後の渡辺印刷所)を引き継ぎました。印刷業を営む一方で、早くから郷土史に興味をもたれ、府中市史談会の初代会長や府中市文化財専門委員会協議長、府中市遺跡調査会副会長等を歴任されています。また俳句や謡曲に親しまれ、府中市謡曲連盟の初代会長も務められました。氏子であった大國魂神社の責任役員や奉賛会会長としての重責を担うだけでなく、くらやみ祭の競馬式の騎手を53回連続で務められるという偉業を達成されました。他にも府中市の区画整理事業や市史編さん事業、青年団などに携わっていました。また、府中出身の代官川崎平右衛門についての業績をまとめた『代官川崎平右衛門の事績』を上梓されるなど、その活躍の場は幅広いものでした。



渡辺文庫はその経歴や活動を反映したような蔵書内容となっています。府中市をはじめ多摩地域に関係した近代史に関する歴史・民俗資料の他、戦前・戦中の思想、宗教、社会科学などの分野が含まれる図書資料約2,100冊と、府中市の行政や歴史、紀彦氏の活動に関するメモや小冊子、ポスター等が含まれる非図書資料約1,300点で構成されています。渡辺文庫の内容は平成21(2009)年に発行しました『渡辺文庫目録 改訂版』をご覧ください。

●催しは予約制です

中央図書館の行事予定

- 1月 6日(水)～ 特集展示「作家・山本幸久」
※作家への質問受付します。詳細はチラシポスター参照
24日(日) 図書館ガイドツアー
30日(土) 新春「府中寄席」
- 2月 27日(土) 図書館講演会「作家・山本幸久氏講演会」
～お仕事小説はこうして生まれた! 作家のアイデア帳～
28日(日) 図書館ガイドツアー
- 3月 12日(土) 企業講演会
26日(土) バリアフリー映画会

OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機(OPAC)のご案内です。触ったことのない方も大丈夫! マンツーマンで行います。検索機は資料探しに欠かせません。入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。毎週水曜と最終週の日曜、午後2時～3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

掲示版

■休館のお知らせ

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

	館名	日程
2月	白糸台 西府 新町	15日(月)～17日(水)
3月	武蔵台 紅葉丘 片町	7日(月)～9日(水)

お知らせ
その1

■全館休館のお知らせ

▽全館の臨時休館について

2月1日(月)は図書館システム停止のため、図書館は市内全館で休館となります。ホームページもアクセスできません。ご了承ください。

お知らせ
その2

■エレベーター工事について

西府図書館では、エレベーター改修工事を実施します。工事期間中は、エレベーターをご利用いただくことができません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▽工事予定期間
西府図書館
1月下旬～3月中旬(予定)

お知らせ
その3

お問合せ

府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>

府中市 図書館 だより

第36号

平成28年1月4日
発行 府中市立図書館



あけましておめでとうございます。1年間、府中市立図書館をご利用いただき、ありがとうございます。平成28年を迎え、ごあいさつさせていただきます。

昨年、2月に長らくお待たせいたしました押立図書館のリニューアルオープン、10月11日に市民文化の日2年目としてさまざまな事業等を実施してまいりました。中央図書館では、PFI事業として、民間事業者とともにサービスを行っております。

しかしながら、外に目を向けてみますと、新聞等で取り上げられております指定管理者による選定資料の問題と指定管理者制度の導入に関わるもの、出版者による新刊本の「図書館の貸出し1年保留」発言など、図書館を取り巻く状況が話題に上る1年でした。

中央図書館では、選書やレファレンス(調査相談)、児童サービスやハンディキャップサービス・地域行政サービスなど、市職員が行っておりますが、民間業者と運営している当館でも、この問題は、いろいろな立場から図書館を考える機会だと思えます。多くの方に利用される図書館、満足される図書館、それがどういう図書館なのかを、常に考えて仕事をしなければと思います。新年を迎え、「図書館とは」を、文献を紐解き、さらに自分自身で考えてみたいと存じます。

図書館長 坪井 茂美

図書館講演会 作家・山本幸久氏講演会 ～お仕事小説はこうして生まれた! 作家のアイデア帳～

1月6日から中央図書館3階特集展示コーナーで、お仕事小説で定評のある山本幸久先生の著作の特集展示を行います。「まだ読んだことがない」という方は、ぜひこの機会に手に取ってみてください。

そして、「以前からファンだった!」という方に朗報です!なんと、2月27日(土)に開催される図書館講演会の講師として、山本先生が来てくださることになりました。そしてさらになんと!読者からの質問に、その場で答えてくださるというオマケつき。「どうして作家になったのか」「小説ってどうやって書くの?」などなど、先生に聞いてみたいことがある方は、ぜひ講演会にご参加ください。

また、講演会にご参加いただけない方からの質問も、右記の要領で受付しています。どうぞお気軽にご参加ください。

質問大募集!

- ▽日時 2月27日(土)午後2時～4時
- ▽場所 ルミエール府中1階 第一・二会議室
- ▽講師 山本 幸久氏(作家)
- ▽定員 中学生以上 先着50名
- ▽申込方法
午前9時～午後7時に、電話または直接中央図書館(5階)へ
(受付開始:1月25日(月)9時～)
- ▽問合せ 中央図書館 042(362)8647

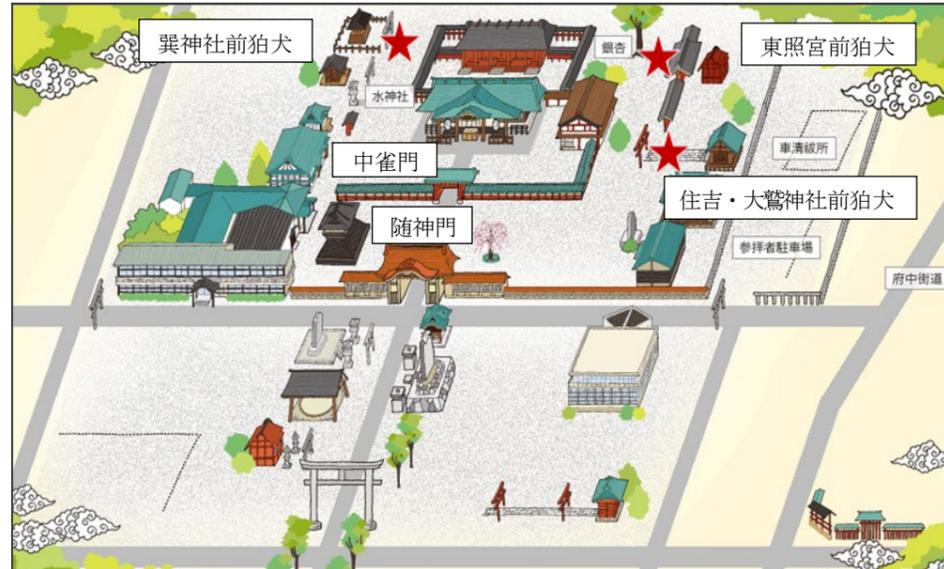
☆質問用紙・回収箱のあるところ☆

中央図書館3階特集棚・3階エスカレーター前
各地区図書館カウンター

☆質問はメールでも受け付けています☆

件名に「おしえて! 山本幸久先生」と入力のうえ、下記のアドレスに送信してください。
※講演会の申込みは電話・来館受付のみです。
[e-mail]:tosyo03@city.fuchu.tokyo.jp

◆◆大國魂神社の狛犬たち③◆◆



出典：大國魂神社ホームページ神社マップ・境内配置図<https://www.okunitamajinja.or.jp/meguri/>に基づいて作成

前回までは、大國魂神社の中でも大鳥居や隨神門、地域の皆さんになじみの深い西鳥居、東鳥居などの人目につきやすい場所の狛犬たちをご紹介しました。今回は境内の奥にすこし足を踏み入れ、東照宮、住吉神社・大鷲神社、巽神社の狛犬たちをご紹介します。

隨神門をくぐり抜け、中雀門を左手に見ながら回廊をぐるっと周ってみましょう。

拝殿の西に位置するこちらには、住吉神社・大鷲神社があります。住吉神社の御本社は大阪府住吉区にあり、御祭神の表筒男命（ウハツツノオノミコト）、中筒男命（ナカツツノオノミコト）、底筒男命（ソコツツノオノミコト）の御分霊を祀っています。海上守護、除災招福の神様です。そして大鷲神社の御本社は大阪府堺市の大鳥神社で、御祭神の大鷲大神（オオトリノオオカミ）の御分霊が祀られており、開運・商売繁盛の神様として信仰されています。ここは二つの神様が合わせて祀られており、大鷲神社は「おとりさま」の酉の市でお馴染みの神社です。こちらの神社には左右2体とも口を閉じた「吽形」の組み合わせの狛犬があります。よく見ると向かって右の狛犬の頭には角があります。角がある狛犬と無い狛犬はどう違うのでしょうか。

平安時代などの昔の狛犬には、角が有り口を閉じている獣が「狛犬」、角が無く口を開けている獣が「獅子」という左右で別の動物の組み合わせだったといわれています。しかし時代を追うにつれ、この獅子と狛犬の差が徐々になくなり、双方の外見にあまり違いが出なくなり、二つ合わせて「狛犬」と呼ばれるようになったようです。

この住吉・大鷲神社の狛犬は、鳥居や参道の狛犬の凛々しい顔つきとはちがひ、どこか可愛らしく親しみやすい表情をしています。取材時、狛犬の足元にはたくさんのどんぐりが置かれていました。神社を参拝された方たちのお供えでしょうか。

住吉・大鷲神社の隣には東照宮があります。徳川家康が亡くなった後、亡骸を静岡の久能山から日光の二荒山に運ぶ際、府中の大國魂神社の斎場に一晚逗留されました。その遺跡を後世に伝えようと、元和4年（1618年）に二代将軍徳川秀忠の命によってこの東照宮が造営されました。赤い門前にきりりとたたずむこちらの狛犬は、寛保2年（1742年）に造立されたもので、府中の石造狛犬の中でも一番古い歴史ある狛犬です。双方の頭の上をよく見てみると穴が開いています。『狛犬学事始』によると、狛犬の角はとて折れやすく、ひどいものになると角が抜けてしまい、頭の真ん中に穴が開いているものもあるとか。この東照宮の狛犬も、昔は立派な角をもった狛犬だった時代があったのかもしれないね。

御本殿の後ろを周り東側にでると巽神社があります。元は市川にあった市神社でしたが、その神社を御本殿の辰巳の方向に鎮座されたことから巽神社という社号がついたといわれています。御祭神は市杵島姫命（イチキシマヒメノミコト）で、俗にいう弁財天が祀られています。こちらの狛犬は、大國魂神社の中の狛犬でも小柄な印象を受けるいちたちです。口の開きも、一般的な「阿吽」とは逆の「吽阿」です。顔立ちも右の狛犬はちょっと人間にも見えるようななんともユニークな

東照宮前狛犬



(右)



(左)



頭の角の跡

住吉・大鷲神社前狛犬



(左)



(右)

「おはなしの森」

図書館では、定期的におはなし会を開催しています。対象は3歳以上のお子さんです。絵本の読み聞かせや、おはなしの語りなどを行っています。

中央図書館では毎週木曜日（午後3時半～4時）と毎月第1土曜日（午前11時～11時半）、地区図書館では毎月1回（午後3時半～4時、新町図書館のみ午後2時半～3時）に開催し、事前予約は不要です。保護者の方も一緒に聞いていただけますので、みなさまお誘いあわせて、お気軽にご参加ください！



おはなし会の日程 1月～3月

ご案内

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。



〈おはなしの森〉

●中央図書館

日時／

①1～3月の毎週木曜日 午後3時半～4時
（※2月11日をのぞく）

②2月6日、3月5日（土）午前11時～11時半

対象／3歳～小学生（保護者同伴可）

●地区図書館

日程／

押立・宮町図書館——1月6日、2月3日、3月2日（水）

四谷図書館——1月7日、2月4日、3月3日（木）

白糸台・西府・新町図書館

——1月13日、2月10日、3月9日（水）

片町図書館——1月13日、2月10日、3月16日（水）

武蔵台・是政図書館

——1月20日、2月17日、3月16日（水）

住吉図書館——1月27日、2月17日、3月23日（水）

紅葉丘図書館——1月27日、2月3日、3月2日（水）

生涯学習センター図書館

——1月27日、2月24日、3月23日（水）

時間と対象／

午後3時半～4時／3歳～小学生（保護者同伴可）
（新町の1～3月、紅葉丘の1月は午後2時半～3時）

〈ちいさい子のおはなし会〉

●中央図書館

日時／1～3月の第2・4木曜日

午前10時半～11時

（※2月第2週のみ2月12日（金））

対象／1・2歳児と保護者

☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。

●地区図書館

日時／地区図書館「おはなしの森」と同日の

午前10時半～11時

（四谷図書館のみ 1月6日、2月3日、3月2日（水））

【参考図書】

『府中市史史料集 14』 府中市史編集委員会

『大國魂 第1号～50号』 大國魂神社奉賛会

『府中市郷土資料集 3』 府中市教育委員会

『家康公と全国の東照宮』 高藤晴俊／著

『狛犬』 藤倉郁子／著

『狛犬学事始』 ねずてつや／著

『日本全国獅子・狛犬ものがたり』 上杉千郷／著

『狛犬かがみ』 たつきよしみつ／文

『府中市史 上・中・下』 府中市

表情で、玉の上に足を乗せています。左の狛犬の足元には、小さなこどもの狛犬が乳を飲むようにして彫られています。隨神門前の狛犬と同様に、「子取り・玉取り」の形です。子を抱える方が雌とされると、厳しい表情でこどもを守るお母さん、そして玉を手にした穏やかなお父さんという狛犬親子の姿が思いうかんでくるようです。皆さんも境内の狛犬たちを見ながら、そんな想像に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。